
魔法少女リリカルなのは 漆黒の抹殺者

亡霊

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは 漆黒の抹殺者

【Nコード】

N1244Z

【作者名】

亡霊

【あらすじ】

As編から、空白期 StrikerSのなかで、なのは、フェイト、はやて達が中学生として平穩に過ごしている時間その裏で暗躍する一人の少年の物語

第1章 プロローグ

はじめまして、
亡霊です

初の二次創作小説です

いたらない所もありますが、よろしく願います
この物語は、AS編から空白期、Strikersに魔導師殺しを
紹介させてみた
誤字脱字とか、文法が変
とかあれば教えてください

第1章 始まりの物語

プロローグ

とある少年の話をしよう。
この少年は人々の平和や幸福を願う。

そして、闇を嫌う、闇を殺すのは闇、この世界の矛盾、より多くより確実に、この世界からなげきを、減らそうと思うなら、取るべき道は、他になかった。

手段の是非を問わず、目的の是非を疑わず、ただ無謬の天秤れど少年は、ただ闇を殺す

とある管理外世界、その廃墟に居る一人の少年、歳は10代前半、14歳から15歳位の子供で、身長は同世代の平均より少し高いぐらいで、顔立ちは歳相応の幼い顔立ちで、目は、歳不相応で冷え切った冷たい黒い目が特徴で髪の色は黒色で短く切っている。

なぜこの場所にいるかと思うと、この辺りで、銃声がなり響いているからだ。

そして、少年がつぶやいた。

「シュノワール、セットアップ」

この少年のセットアップした。

格好はFF?のスコールのようなバリアジャケットそして、右手には、ガンブレードが握られている。

「FF?のリボルバー」

「OK、マスターさっさと終わらせろぜ。」

少「あああ、120秒で片を付ける」

そして少年が動いた、廃墟の地理を巧みに利用しこちらにきずく前に銃を持っている男達を一人ずつ狩っている。ただ、音もなく地面に水が染み込んでいくように。

男達「!!!!」少「邪魔だ。」と無感情に18人も男達を斬っていく、その動きは、精密機械のように冷酷に狩っていった。

4

そして、少年の目の前に一人の男が立っていた、名前は確かロンバSTEIN

このロンバSTEINこの男は麻薬や質量兵器の密売などをしていると罪状を思い出すと、ロンが口をひらいた。

ロン「なんなんだよお前」と話しながら杖型のデバイスで魔弾を打ってきたが、

少年に当たる前に消滅し少年が動いた、ただ一言の言葉を発して。

少「見ればわかるだろ?ただの管理局員だよ。」と

ガンブレード型のデバイスことノワールでロンの右腕を切断し苦しむロンが吼えた

「な、非殺傷設定じゃないだと！お前は、管理局だろ？」

少「お前には、抹殺許可が出ている。」と無感情に告げる。

そして、少年が次の動作に入ったただ、右側から、ロンの腹部をノワールで切り裂いた。

少「任務完了」

ノ「タイム113秒、記録更新だぜ、マスター」

少「ああそうだな、ノワール。こちらゴースト4、HQ応答せよ。」

HQ「こちらHQ確認した。ご苦労さんゴースト4、帰還しろ、レイジ。」

レイジ「了解した、カレン隊長」

第1章 プロローグ（後書き）

すいません。戦闘が雑で、これか頑張っています。

第1章 ?話 突然の始まり(前書き)

今回もがんばります。

第1章 ?話 突然の始まり

??SID

第三世界ヴァイゼン

今、俺が立っている場所は、とある高層ビルの15階の一室にいる。

?「こちら、ゴースト4、目標確認、指示を願う。」

HQ「確認した、ゴースト4、速やかに任務を遂行しろ」

「了解、任務を遂行する。」といって通信を切る。今、俺が持っているのは、WA2000

この銃は第97管理外世界のワルサー社の銃だ。

口径は308口径 重量約7Kg 全長905mm 装弾数6発
のブルパップ方式の銃でスコープはミッドチルダ製の最新式で通常モードと魔力感知モードがある。

種別 セミオートマチック のスナイパーライフルである。

そして、今、俺が居るビルから南から2kmに見えるビルの一室を今、WA2000のスコープで見ている。

今回の任務は、その一室である、とあるロストロギアの取引が行われるのに伴いその取引に参加するある人物の抹殺が今回の任務である。

ある部屋

「これが噂のロストロギアのレリックか」

「はい、最近になって教会や管理局が探しているものです。」

「このロストロギアは古代ベルカの物です。」

とそのとき護衛の男が倒れた、その直後に取引をしていた男も死んだ。

「目標確認狙撃開始」を合図にトリガーを弾いた。

まず最初に取り引をしていた男の護衛を狙撃しセミオートで周りに居た男達を射殺した。

「任務完了」と無感情に

「こちらゴースト4 任務終了した、これより撤退する。」

「了解した、一ど本部に顔を出せこれは、部隊長命令だ」

「了解した。」

時空管理局本局のとある部隊の一室

「よレイジご苦労さん」

とこれを掛けてきたこの男アラド・グラッデ歳は18で魔導師ランクはAAの陸戦魔導師の男

「ええありがとうございます。隊長はどちらに?」「奥の執務室に居るぞ。」

「失礼します」と言ってドアを開けると、一人の女性が書類整理をしていた。

「おかれり、任務ご苦労さんレイジ」といって話してきた

「でなんですか、また任務ですか？カレン隊長殿」

カ「ええ貴方にご氏名の特殊任務よ「帰っていいですか。」だめよ」とあしらわれる。

レ「なんで自分なのですか？」 カ「情報一課からの要望よ」

レ「なんでまた情報一課からですか？」 「さあ、ただ貴方を直々に指名してきたの」

レ「自分の情報は大将以上でないと閲覧できないはずですが？」

カ「ま 誰かがレイジの情報を開示したかはわからないけど、今回は、貸し出しでは無く、

異動よ特戦一課からの異動よ」

レ「わかりました。短い間でしたがありがとうございます。」「なそれだけ！」

レ「えええそれだけです。」「といって執務室を出る「レイジきお

付けなさい向こうは最高評議会のお膝元よ。」

「ええ心得てありますよ、隊長」 「あなた10歳年齢詐称して
るでしょっ?」

「まだ13歳ですよ。」

とって部隊の執務室をでた。

第1章 ?話 突然の始まり(後書き)

スイマセン遅くなりました7

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1244z/>

魔法少女リリカルなのは 漆黒の抹殺者

2011年12月18日10時53分発行